

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		・必要に応じてパーティションで仕切っているが、音も遮断出来るスペースがあれば尚良いと思う。	
	②	職員の配置数は適切である	8		・利用者の状況をみながら、臨機応変な対応を行っている。 ・利用者の人数、その日の状況に合わせて臨機応変に対応できている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所への設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		・利用者の特性に応じて、パーティションを使用し空間を区切ることで集中したり落ち着ける環境設定を行っている。 ・タイムスケジュールや手洗い場前などの場所に、視覚表示を設置することで取り組むことが分かりやすいように環境設定を行っている。 ・環境設定において、利用者に合わせて随時行っている。	
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもの活動に合わせた空間となっている。	8		・毎日の掃除や消毒は行っており、活動に合わせてレイアウトも検討しながら活動を行っている。 ・活動後には、室内の清掃、使用した物のアルコール消毒を行っている。利用者の気になるような物は排除し、落ち着いて過ごせるように心掛けている。 ・基本的な感染対策と危険個所がないか安全確認を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8		・時間的に毎回会議への参加は難しい為、自分からもすり合わせるような動きはより必要だと感じている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			
	⑦	事業所向け自己評価表および、保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		・月初めの事業推進会議の際など定期的に研修の機会を設けられている。 ・月に1度の事業推進会議へ職員全員が参加している。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		・太田ステージを使用し、参考にしている場合がある。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	8			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			

の
提
供

⑮	活動プログラムを固定化しないよう工夫している	8		<ul style="list-style-type: none">・職員間で様々なアイデアを出し合い利用者に必要な事を取り入れている。・他事業所の活動も参考にしている。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8			
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		<ul style="list-style-type: none">・朝礼の際に、活動内容を把握し、支援方法や個別の対応の仕方などを確認出来ている。・朝礼と終礼を必ず行っており、その日の利用者の確認や周知事項を共有している。	

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	8		・終礼を行い、支援の振り返りの中で次回の支援や今後の課題等を職員間で共有している。 ・保護者からの連絡帳の記載内容を周知している。	
	⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		・毎回の活動後は必ず記録をしている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		・保護者と面談を行い、個別支援計画案の提案を行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		・担当者会議は管理者と児童発達支援管理責任者が参加している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		・各関係機関と連携を図っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連絡体制を整えている。	8		・常時、看護師が在籍いない為、医療的ケアが必要な方や重症心身障害のあるお子様の受け入れを行っていない。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関などと連絡体制を整えている	8		・常時、看護師が在籍いない為、医療的ケアが必要な方や重症心身障害のあるお子様の受け入れを行っていない。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		・保護者の希望に応じて園へ訪問し、利用者の園生活を見学したり、事業所内での様子やその時の対応方法などをお伝えしたりしており、密に情報共有を行っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		・保護者の希望に応じて、情報提供書や移行支援シートを活用している。	
	㉗	他の児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8			
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいのない子どもと活動する機会がある	8			
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8			
		㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		・療育内容は、毎回、連絡帳に記入し、保護者からも状況を記入して頂き、困り感などがあっても連絡帳を通じてやり取りしている。 ・送迎時などに活動での様子を伝えたり、保護者からの要望などを共有出来ている。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8		・面談時にご自宅での対応方法をお伝えしている。 ・保護者の希望に応じて、公認心理師、言語聴覚士の面談を設けている。	
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び、支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8			
	㉞	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		・こちらからお声かけしたり、保護者の要望等状況を見て定期的に面談を行っている。	
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8			
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		・相談、申し入れがあった際には、管理者や児童発達支援管理責任者に報告を行い対応できている。	
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		・月中～末には、来月の予定を配布している。 ・毎月活動内容の配布を行っている。	
	㊳	個人情報に十分注意している	8		・連絡帳や配布物などは必ずダブルチェックを行っている。	
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8		
非常時の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8			
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っている	8		・年に1回は実施している。	
	④⑬	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		・保護者より同意書をもっている。(服薬に関して)	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		・契約時アレルギー調査票を使用し、対応を共有している。 ・必要に応じて、保護者より	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		・毎日の業務日報に療育中と送迎時のヒヤリハットを記載し、共有している。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		・定期的に研修の機会を設けている。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	8			